

愛媛労働局長による建設現場パトロールを実施しました。

愛媛労働局(局長 縄田英樹)では、建設業において、一昨年から2年連続で増加傾向が続き、特に死亡災害が大幅に増加していることから、建設業における死亡災害の撲滅と、労働災害の増加を食い止めるため、平成30年11月16日に「県下の建設現場での労働災害の大幅増加に係る《警報》」を発令し、労働災害防止対策の徹底を要請するとともに、建設業における労働災害防止対策の推進を図っているものです。

今般、県下の建設業における死亡災害の根絶を図る目的で始められた建設業労働災害防止協会愛媛支部の主催により行われる「第61回建設事業ノーダン運動」の取組にあわせて、平成31年2月8日、愛媛労働局長による公開現場パトロールを実施しました。

このパトロールは、建設業労働災害防止協会愛媛支部(以下「建災防」と言います。)が主催する「第61回建設事業ノーダン運動」現場パトロールと併せて実施したもので、四国中央市土居町野田の福助工業株式会社野田工場新築工事で行われ、愛媛労働局(縄田局長、三好健康安全課長)、新居浜労働基準監督署(小野安全衛生課長)、建災防(米谷中畑支部長)、愛媛県など15名が参加しました。

今回、パトロールを行った福助工業株式会社野田工場新築工事は、地上2階建ての福助工業株式会社野田工場新築工事で、足場や高所からの墜落防止対策を重点に安全対策の実施状況を確認しました。また、建災防ではこの日、県下23現場で一斉パトロールを実施しており、92名が参加しています。

平成31年1月末現在(速報値)の県下の労働災害は、休業4日以上死傷者数が1,452人で、前年同期と比べ29人(2.0%)増加し、3年連続の増加傾向にあります。また、13人の方が亡くなっております。同様に、建設業での死傷者数は212人で、前年同期と比べ26人(14.0%)増と大幅に増加し、死亡者数は9人と前年同期比で3人増加と倍増しています。

愛媛労働局では、新たな年を迎え、本年の死亡災害の撲滅と、増加傾向にある労働災害を減少に転じさせるために、労働災害防止対策を推進することとしております。職場から不幸な労働災害を一掃するため、労働災害防止対策の徹底をお願いします。

